

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市総合教育センターの運営について

当センターは、昭和 61 年 11 月に京都市立学校・幼稚園教職員の研修・研究を行う教育機関として開館しました。



平成 15 年 4 月には、「カリキュラム開発支援センター」を設置し、教職員の資質や指導力の向上、授業改善の支援に努めています。



平成 20 年 4 月から組織として加わった教員養成支援室では、「京都教師塾」をはじめとした教員養成に係る事業を行っています。



教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指した取組が求められる中、令和 3 年 6 月から「教職員研修支援 SMART PORTAL」を構築し、「オンライン研修と対面・集合研修のベストミックス」を図っています。

また、学校統合推進室等においては、小規模校における教育上の諸問題を解決するための調査研究や統合計画の策定、閉鎖校の管理に関する事務を行っています。

今後とも、教職員の資質向上や効率的な運営に努めてまいりますので、引き続き当施設をご利用いただきますようお願いいたします。

施設運営に関する支出・収入（概数）

令和 7 年度の年間利用者数は 915,518 人で、利用者 1 人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は 822 円（総額 7.5 億円）です。施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

＜支出：822 円（総額 7.5 億円）＞

人件費 674 円	事業費・光熱水費等 148 円
--------------	--------------------

＜収入：なし＞

822 円
市民の皆様からの税金を活用

〔京都市総合教育センター研修課庶務担当 371-2340〕